



ちん しゅん
陳 遜

生年月 1989年2月中国生まれ
最終学歴 2015年名古屋大学大学院
環境学研究科都市環境学
専攻修士課程修了
業務経歴 2015年(株)大林組入社
現在、名古屋建築設計部
主任
●担当した主なプロジェクト
2015年 三井不動産ロジスティック
パーク船橋I
2016年 東京流通センター
物流ビルB棟
2017年 ロジポート川崎ベイ
2018年 プリヂストーンケミテック(株)
加工工場
2019年 日本特殊陶業(株)小牧工場
新事務棟 N-FOREST
2022年 三菱電機(株)新拠点工場

■青年技術者のことば

建築の「利用者」には様々な人が含まれています。建築主、訪問者、近隣住民など、多種多様な立場の「利用者」たちの見えない需要にまで答えることが日々の設計業務を通じて大切だと考えています。

時として建築を利用する主体は人間に限らないこともあります。古代ギリシャの神殿や日本の神社仏閣のように建築を利用する主体が神仏の場合もあれば、物流施設のように大型車両が主体として利用される建築も増えています。近い将来には自動操縦の車や荷を運ぶドローンが主な「利用者」として設計される建築も考えられます。時代とともに建築を利用する主体も変化・拡大していく中、設計という行為は常にその「利用者」を中心とした「場面・シーン」をいかに想像する作業から始まります。特にその過程において、「利用者」それぞれの複雑な関係性を整理すること、機能を内包した思想や美のあり方を追及すること、各々の需要を満足させる具体的な形を模索することが、設計者として最も貴重な経験となり、同時に喜びを感じる瞬間でもあったと考えています。

■すいせん者

浅野浩明
(株)大林組
名古屋建築設計部 部長



セラミックスを透かし積みにしたルーバーを採用した特徴的な外観



フレキシブルで明るく開放的なオフィス内観



自然換気システムを採用した吹抜階段内観



近隣住民に開放する1階カフェ外観



内外から利用される1階カフェ内観

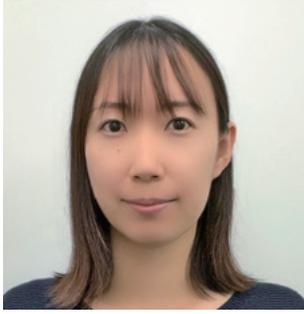


焼き物の素材感を感じさせる来賓エントランス内観



セラミックスルーバーディテール夜景

※写真はいずれも「日本特殊陶業小牧工場新事務棟 N-FOREST」(写真撮影は2021年7月)



つじいなるみ
辻井 成実

生年月 1988年12月三重県生まれ
最終学歴 2013年神戸大学大学院
工学研究科建築学専攻修了
業務経歴 2013年㈱昭和設計入社
現在、東京事務所
建築設計部主査
●担当した主なプロジェクト
2016年 大分県信用保証協会
2017年 御影公会堂改修
2021年 神戸市西区総合庁舎
2022年 高知警察署

■青年技術者のことば

入社してからこれまで建築の設計業務や企画構想業務に携わる中で、建築は長く大切に使い続けられる街の財産であり、地域への愛着醸成や文化の醸成の助けとなる存在であると感じています。

現在の設計業務では多様な発注方法やプロジェクトスキームが採用されたり、ワークショップの開催があったりなど、建設プロジェクトに携わる関係者が増えています。多方面からの意見の中には、設計者の立場からでは気づいていない観点のものもあり、日々業務を進めながら学ばせていただいています。

施主や利用者との対話を重ね、様々な関係者の思いを少しずつ影響させることで、お互いに満足度の高いよりよい街の財産となっていくのではないかと感じます。

建築は多くの人と関わり、多くの時間と資金をかけて実現されます。その規模と社会的責任の大きさに戸惑うことも多々ありますが、携わった建築が愛着をもって長く利用されることはとても嬉しく思います。

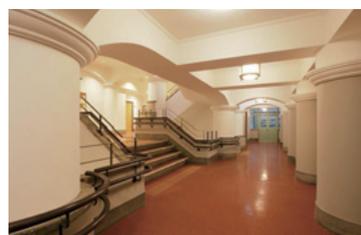
今後も、街の財産という建築、そして街全体をかたちづくる一員として貢献できるよう、より一層精進していきたいと考えています。

■すいせん者

木村達也
㈱昭和設計 東京事務所
建築設計部 部長



神戸市西区総合庁舎



御影公会堂